

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	2次元画像比較を駆使した超高磁場リコネクションの巨大加熱・加速の解明と応用開拓
研究代表者	小野 靖（東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者の実験室プラズマにおける磁気リコネクション現象に関するこれまでの研究業績は、国際的にも高い評価を受けており、今後も当該研究分野の発展はプラズマ科学のみならず、宇宙物理学、天文学などの分野においても影響を与える重要な分野である。本研究は、これまでの研究成果に裏付けされ、独自の戦略で磁気リコネクションモデルの判別と統一的解釈を目的とする世界的にも先駆的な研究内容である。測定精度が、さまざまなモデルの判別に十分かどうか現時点では明確ではないが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>